

特 福智町赤池ふるさとフェア
特設ステージに集まった親子の大声援

11月2日に中央公民館前広場で、赤池商工会主催の赤池ふるさとフェアが開かれました。町内外からおよそ2千人が訪れ、特産品や安売り商品がズラリと並んだテント村で旬の味を楽しみました。「炎神戦隊ゴーオンジャーショー」では会場を埋めつくすほどの親子連れが特設ステージ前に集まり、ヒーローたちの大活躍に熱い声援を送っていました。



↑レッドがステージから飛び出した。迫り来るジャンプに歓声が上がりました。

↓新作がそろい8千人が訪れた窯開きで、手取りの良さを確かめる陶芸ファン。



わ 第13回上野焼秋の窯開き
わたしに似合う新作のぬくもり

上野焼秋の窯開きが10月24日から3日間開催されました。この日を待ちわびた陶芸ファンが上野焼陶芸館と上野焼協同組合の16窯元を訪れ、窯出しされて一斉に並んだ秋の新作を手にとり、感触を確かめていました。また福岡都市圏からのバスツアーや初日のテレビ放送の影響で新規ファンも開拓。上野焼のぬくもりを肌寒い秋に伝えた3日間でした。

初 福田昌さん弓道昇段の難関突破
初心忘れず平常心で射止めた四段

「先生の言葉『練習が審査のつもり、審査が練習のつもり』を胸に、平常心を心がけて臨みました」。9月28日に福智町弓道場で行われた狭き門の四段審査に、町弓道連盟の福田昌さん(金田)が82歳で見事合格しました。弓道を初めてまだ4年の福田さんは「これからも健康増進に努め、次は五段に挑戦したいです」と柔らかなまなざしで目標を語りました。



↑鋭いまなざしでの的へと向かう福田さん、無心が感覚を研ぎ澄ませています。

↓鮮やかなコスモスに、はしゃぐ声が響いたフェスタ会場。笑顔も満開でした。



一 コスモスフェスタ2008
一面に咲き誇る彩りに包まれて

恒例のコスモスフェスタが10月26日に弁城迫で開かれました。ここ数年は開花が遅く、開催日につぼみの状態も多かったのですが、今年は1万1千㎡の畑がピンクや白の花びらで埋めつくされました。幼児たちが一面のコスモスの中でかくれんぼを楽しむ場面も見られ、訪れた約500人は猪鍋などの郷土料理に古鼓をうちながら、秋の絶景を満喫していました。

↓力強く勇壮に舞う平原青年団の獅子、全国青年大会での受賞は2年前の「後藤文夫賞」以来2度目。



地 平原青年団が全国青年大会優秀賞
地域が誇る獅子が躍動

11月8日に東京都で開かれた全国青年大会郷土芸能の部で、平原青年団の獅子舞が優秀賞に輝きました。県青年大会で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場した平原青年団は、重くて大きな獅子頭を力強く振るダイナミックな舞を披露。美しいお囃子とりりしい稚児の姿も高評価でした。平原地区は、平成2年の行政区発足とともに保存会を結成し、以来、地域や福祉施設などで獅子舞を披露してきました。全国の舞台に躍進した獅子舞は、年間を通じての地道な活動や練習によって地域で継承されています。

無 神崎二老人クラブが県ペタンク大会優勝
無欲と笑顔が勝利を呼んだ

10月30日に県老人クラブペタンク大会が小郡市で開催され、福智町代表として出場した神崎二老人クラブが見事優勝しました。「和気あいあいのプレーに結果がついてきました。勝ちやスコアを意識せずに、楽しみながら優勝できるなんて最高です」とチームワーク抜群のメンバーは、この日もすがすがしい笑顔で、県大会の初優勝を振り返りました。



↑優勝とともに来年開催される全国大会への出場権も獲得した神崎二の皆さん。

↓雨が上がると、白いじゅうたんに笑顔とシャッターチャンスが訪れました。



味 ソバの花フェスタ2008
味覚と視覚でソバを堪能

10月26日に農業総合プロジェクト会議主催の「ソバの花フェスタ」が上弁城集会所周辺で開かれました。雨の中、町内外から訪れた約500人のお目当ては、手打ちソバと写真コンテスト。限定300食の手打ちソバは、午前中に完食するほど好評でした。一面をソバの花に囲まれて行われた写真撮影では、モデルもカメラマンも穏やかなひとときを楽しみました。